

宮崎県環境計画（改定計画）

平成30年度の取組状況

1 宮崎県環境計画（改定計画）平成30年度の実施状況

環境森林課

(1) 宮崎県環境計画（改定計画）の概要

【計画期間】

平成28年度から令和2年度までの5か年の計画

【長期的な目標】

日本のひなた「太陽と緑の国みやざき」の実現
～太陽光や森林資源を活かした環境にやさしい持続可能な社会づくりをリードします～

【環境分野別の施策の展開】

- ① 低炭素社会の構築
- ② 循環型社会の形成
- ③ 地球環境、大気・水環境等の保全
- ④ 生物多様性の保全
- ⑤ 環境保全のために行動する人づくり
- ⑥ 環境と調和した地域・社会づくり

(2) 平成30年度の実施状況

① 低炭素社会の構築

ア 二酸化炭素等排出削減

産業、業務、運輸、家庭の各部門における温室効果ガスの排出削減に向けた普及啓発の取組を推進した。

◆地球温暖化防止活動推進員（県委嘱）による地域での普及啓発活動
（推進員：63人）

◆地球温暖化防止活動推進センターによる研修会の開催（6回）

◆事業者向け「省エネセミナー」の開催（6回）

等

イ 再生可能エネルギー等の利用促進

太陽光やバイオマス等の再生可能エネルギーの導入促進を図るとともに、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた調査研究を支援した。

◆再生可能エネルギー等に関する県民向け及び事業者向け研修会等の開催（県民向け：12回、事業者向け：1回）

等

ウ 二酸化炭素吸収源対策

森林県である本県の特性を生かし、二酸化炭素吸収源対策としての森林整備等の取組を推進した。

- ◆造林・下刈・除間伐（13,962ha）
- ◆企業の森づくり協定締結（6企業） 等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (H26)	実績値					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	H32
新エネルギー総出力電力	kW	658,104	955,220	1,110,661	1,221,000			821,000
間伐実施面積	ha	4,793	4,550	3,209	3,223			8,200

② 循環型社会の形成

ア 4Rと廃棄物の適正処理の推進

環境への負荷が少ない循環型社会の実現を目指すため、廃棄物の適正処理等の取組を推進した。

- ◆廃棄物監視員等による廃棄物処理業者及び排出事業者に対する立入検査、山間地域不法投棄監視パトロール
(立入検査：11,437件 山間地域監視パトロール：72回)
- ◆産業廃棄物処理業者のトラックスケール設置等を支援
(更新：2件 改修：1件)
- ◆みやざき食品ロス削減キャンペーン、食べきり宣言キャラバン実施
(協力店舗：183店) 等

イ 環境にやさしい製品の利用促進

グリーン購入の取組の促進、木材や木製品、リサイクル製品等、環境にやさしい製品の利用促進を図った。

- ◆補助事業による県産材を活用した住宅の普及（セミナー参加者：39人）、公共建築物等の木造化・木質化の促進（11件）
- ◆宮崎県産業廃棄物協会が実施するリサイクル製品認定制度への補助 等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (H26)	実績値					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	H32
最終処分量（一般廃棄物 ＋産業廃棄物）	千t	205 [H25]	185 [H27]	217 [H28]	228 [H29]			191
リサイクル率（一般廃棄物）	%	19.0 [H25]	17.7 [H27]	17.2 [H28]	17.1 [H29]			25.0
リサイクル率（産業廃棄物）	%	66.1 [H25]	68.2 [H27]	67.1 [H28]	64.0 [H29]			67.0
公共建築物における木造率	%	25.8	25.5	26.8	16.3			30.0
リサイクル製品認定数	品目	61	56	61	61			100

③ 地球環境、大気・水環境等の保全

ア 地球環境、大気環境の保全

大気汚染の状況について常時監視を行うとともに、有害大気汚染物質等のモニタリングを行うなどの大気汚染防止対策の取組を推進した。

- ◆大気汚染の常時監視
(測定局：21局（一般環境大気測定16局、自動車排ガス測定5局）)
- ◆工場・事業場への立入検査（立入検査：304件）
- ◆有害大気汚染物質等のモニタリング実施（調査地点：4地点） 等

イ 水環境の保全

公共用水域及び地下水の監視や「水質汚濁防止法」に基づく特定事業場への定期的な立入検査等の水質汚濁防止対策を行うとともに、浄化槽設置予定者への講習等の生活排水対策の取組を推進した。

- ◆水質環境基準等監視
(公共用水域（河川：79水域 海域：10水域） 地下水：131地点)
- ◆個人又は市町村が合併処理浄化槽を整備する場合の費用の一部補助
(実施：24市町村 設置基数：783基)
- ◆排水基準監視（立入検査：680事業場 排出水検査：406件）
- ◆浄化槽法定検査受検啓発（実施：25市町村 指導基数：37,762基） 等

ウ 化学物質対策

化学物質の製造・使用・廃棄等に関する情報の把握により、県民・事業者・行政による情報交換（リスクコミュニケーション）を行い、安全・安心な生活環境の保全を図る取組を推進した。

- ◆ダイオキシン類の環境調査
（調査地点 大気：6地点 水質：19地点 底質：17地点 地下水：7地点
土壌：9地点）
 - ◆事業者の化学物質対策の監視・指導（届出事業所：336件）
 - ◆化学物質の製造・使用・廃棄等の実態調査
（調査項目：3種類（大気、水質、底質））
- 等

エ 環境負荷の低減等

「環境影響評価法」に基づき作成された環境影響評価書について、環境を保全する観点から審査を行い、環境負荷の低減を図るとともに、認定患者等に対する健康観察検診、保健指導及び補償給付などの公害健康被害対策を推進した。

- ◆環境影響評価法に基づく準備書の審査（風力発電所：1件）
 - ◆土呂久地区住民健康観察検診及び保健指導
（検診受診者：77人 法給付適用者：46人）
- 等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (H26)	実績値					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	H32
大気環境基準達成率（環境基準達成項目数／環境基準監視項目総数）	%	83.1	88.9	84.6	83.7			100
BOD・COD水質環境基準達成率（環境基準達成水域数／水域数）	%	98.9	98.9	100	98.9			100
生活排水処理率（生活排水処理人口／県の全人口）	%	76.1	78.9	79.4	80.6			83.0

※環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準

④ 生物多様性の保全

ア 生物多様性の確保

自然公園、自然環境保全地域等保護地域における生物多様性確保のための取組を推進した。

- ◆重要生息地指定（友内川（延岡市） 平成31年3月28日）
- ◆県内各地域に野生動植物保護監視員を設置（保護監視員：93人） 等

イ 人と環境を支える多様で豊かな森林づくり

広葉樹の植栽・間伐による針広混交林への誘導や森林ボランティアが行う森林づくり活動の支援など森林の整備を推進した。

- ◆荒廃林地の再造林や強度間伐による針広混交林への誘導等（広葉樹造林：79ha 針広混交林：91ha）
- ◆ボランティア団体が行う森林づくり活動への支援（34団体）
- ◆公益上重要な森林の公有林化の支援（日之影町 4.65ha） 等

ウ 自然豊かな水辺の保全と創出

自然環境に配慮した河川・海岸づくりや美化活動が進み、快適な水辺環境の保全と創出を図る取組を推進した。

- ◆サンゴ群集保護のため天敵であるオニヒトデなどの駆除（321kg） 等

エ 自然とのふれあいの場の確保

自然公園やひなもり台県民ふれあいの森の維持管理など、自然とふれあう場の確保や利活用を図る取組を推進した。

- ◆自然公園等の利用促進を図るため休憩所（1か所）や防護柵（1か所）の整備 等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (H26)	実績値					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	H32
重要生息地（累計）	か所	8	10	10	11			14
シカ推定生息数	頭	125,000 [H25]	98,000 [H27]	109,000 [H28]	99,000 [H29]			77,000
森林ボランティア延参加者数	人	27,653	28,602	29,085	26,229			33,000
ひなもり台県民ふれあいの森利用者数	人	76,908	83,877	70,189	84,036			87,000
自然公園利用者数	千人	10,056 [H25]	9,846 [H27]	9,264 [H28]	9,076 [H29]			現状維持

⑤ 環境保全のために行動する人づくり

ア 環境教育の推進

環境教育の拠点である「環境情報センター」（県立図書館1階）において、環境教育・学習に関する相談対応や環境講座を開催するとともに、学校や地域などを対象に講師派遣を行うことにより、環境教育を推進した。

- ◆環境情報センター運営（利用者数：43,144人 環境講座・出前研修の実施：63回 環境保全アドバイザー派遣：89回）
- ◆環境教育用パンフレット「みやざき環境読本」の発行（12,500部）
- ◆ひなもり台県民ふれあいの森等での森林・林業に関する体験研修の開催（親子木工教室・植物観察等：27回（ひなもり台：22回 共に学ぶ森：5回））
- ◆若者を対象とした林業現場等の見学研修（バスツアー：116人） 等

イ 環境保全活動の推進

県民、団体、事業者、行政等が協働し、環境保全のための活動を実践する取組を推進した。

- ◆県民総ぐるみで行う環境美化活動「クリーンアップ宮崎」の実施（参加者：133,345人）
- ◆啓発イベント「みやざきエコフェスティバル」の開催（参加者：約1,000人） 等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (H26)	実績値					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	H32
水生生物調査（水辺環境調査）参加者数	人	1,593	2,012	2,092	1,734			3,000
こどもエコチャレンジ施設認定数（累計）	施設	160	179	183	187			220
環境情報センター利用者数	人	37,804	40,187	41,990	43,144			41,000
森林環境教育実践校（団体）数	校（団体）	55	54	51	43			60

⑥ 環境と調和した地域・社会づくり

ア 環境にやさしい地域・産業づくり

農地や森林の有する国土保全機能を維持するとともに、魅力ある農山村づくりや環境とともに歩む農林水産業や観光業の推進など、環境にやさしい地域・産業づくりを推進した。

- ◆森林組合等が行う森林調査や合意形成活動、既存の作業路網の改良などの地域活動への支援
- ◆「緑の雇用」事業の研修修了者等に対する定着促進のための補助金の交付（交付：88人分 44事業体） 等

(3) 平成30年度の主な動き



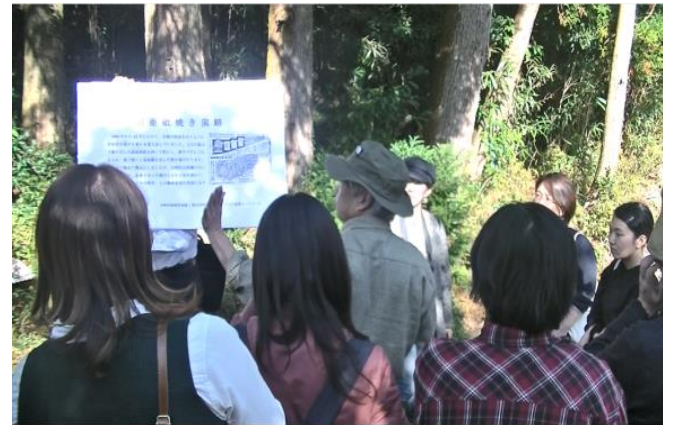
6月24日／宮崎市 イオンモール宮崎
環境保全に関する普及啓発イベント
「みやざきエコフェスティバル」を開催
(紫外線発色ビーズストラップ作成の様子)



8月11日／えびの市 えびの高原
山の日イベント
「霧島山モンテフェス」を開催



通年／県内各地 (54回実施)
小中学生を対象に、本県独自の「五感
を使った水辺環境指標」を用いた水辺
環境調査を実施



10月20日～10月21日・11月23日／高千穂町
「土呂久を学ぶワークショップ」を開催
(2回実施)
県外の大学生等を対象に土呂久地区の
公害を含む歴史、自然、文化などを学
ぶフィールドワークを実施



12月1日／宮崎市 イオンモール宮崎
家庭からのCO₂削減に取り組むため
「地球温暖化防止月間啓発イベント」
を開催 (木のバッジ作りの様子)



2月2日／宮崎市 宮崎市民プラザ
「食べきり宣言フォーラム」を開催
料理研究家 土井善晴氏による講演、
食べきり川柳コンテスト表彰式など
を実施